

平成 29 年度 健診検査値からみた加入者(40-74 歳)の健康状態に関する調査

令和元年 9 月
健康保険組合連合会
IT 推進部データ分析推進グループ

調査の概要

本調査は、平成 29 年度の特健診受診者 401 万 3,265 人(464 組合)における特定健診データをもとに、健診検査値の判定基準に基づく該当者の分布状況や保健指導対象者の階層化状況から、特定健診受診者(40-74 歳)の健康状態を考察したものです。なお、本調査で用いた各健診検査項目の判定基準は以下の通りです。

腹囲判定基準値

非肥満	下記(1)～(3)のいずれにも該当しない場合
肥 満	(1)内臓脂肪面積 100cm ² または内臓脂肪面積 < 100cm ² で BMI 25kg/m ² 内臓脂肪面積の検査値がないとき (2)腹囲【男性】 85cm、【女性】 90cm (3)腹囲【男性】 < 85cm、【女性】 < 90cm で BMI 25kg/m ²

健診検査項目の保健指導判定値及び受診勧奨判定値

	検査項目	保健指導判定値	受診勧奨判定値
血圧	収縮期	130mmHg	140mmHg
	拡張期	85mmHg	90mmHg
脂質	中性脂肪	150mg/dL	300mg/dL
	HDL コレステロール	39mg/dL	34mg/dL
	LDL コレステロール	120mg/dL	140mg/dL
血糖	空腹時血糖	100mg/dL	126mg/dL
	HbA1c	5.6%	6.5%
肝機能	AST(GOT)	31U/L	51U/L
	ALT(GPT)	31U/L	51U/L
	-GT(-GTP)	51U/L	101U/L

厚生労働省「標準的な健診・保健指導プログラム[改訂版]」・「第 2 編:健診」p.58 を基に作成。

健診検査項目の保健指導判定値及び受診勧奨判定値（詳細区分）

区分	血圧 (mmHg)	脂質 (mg/dL)	血糖 (mg/dL)	肝機能 (U/L)
基準範囲内	収縮期 < 130 かつ 拡張期 < 85	LDL < 120 かつ HDL 40 かつ 中性脂肪 < 150	空腹時血糖 < 100 <u>空腹時血糖がないとき</u> HbA1c < 5.6%	AST < 31 かつ ALT < 31 かつ -GT < 51
保健指導判定値	収縮期 130 または 拡張期 85	LDL 120 または HDL < 40 または 中性脂肪 150	空腹時血糖 100 <u>空腹時血糖がないとき</u> HbA1c 5.6%	AST 31 または ALT 31 または -GT 51
			空腹時血糖 110 <u>空腹時血糖がないとき</u> HbA1c 6.0%	
受診勧奨判定値	収縮期 140 または 拡張期 90	LDL 140 または 中性脂肪 300	空腹時血糖 126 <u>空腹時血糖がないとき</u> HbA1c 6.5%	AST 51 または ALT 51 または -GT 101
	収縮期 160 または 拡張期 100	LDL 180 または 中性脂肪 1,000		

厚生労働省「標準的な健診・保健指導プログラム[改訂版]」第2編:健診 別添資料「健診結果とその他必要な情報の提供(フィードバック)文例集」を基に作成。

健診レベル判定分布（「健康分布図」）の健診検査項目判定基準

（ = 保健指導対象者の選定に必要な健診検査項目と判定基準）

	検査項目	保健指導判定値以上(リスクあり)
血圧	収縮期	130mmHg 以上
	拡張期	85mmHg 以上
脂質	中性脂肪	150mg/dL 以上
	HDL コレステロール	40mg/dL 未満
血糖	空腹時血糖	100mg/dL 以上
	HbA1c(空腹時血糖がない場合)	5.6%以上

目次

1 . 腹囲判定に基づく「非肥満」・「肥満」の割合	4
2 . 健診検査項目別にみた判定値区分別該当者割合	6
(1) 血圧	6
(2) 脂質	8
(3) 血糖	10
(4) 肝機能	12
3 . 腹囲判定別にみた健診検査値リスク保有者の構成割合	14
4 . 腹囲判定別にみた健診検査項目リスク数構成割合	15
5 . 腹囲判定別にみた検査項目別「保健指導基準値以上」該当者のリスク保有構成割合	18
(1) 血圧	18
(2) 脂質	20
(3) 血糖	22
6 . 保健指導対象者の選定・階層化に基づく健診レベル判定分布	24
【参考資料】	26

1. 腹囲判定に基づく「非肥満」・「肥満」の割合

健診受診者 401 万 3,265 人の腹囲判定別(非肥満・肥満)の該当者合をみると、「非肥満」が 62.7%、「肥満」が 37.3%となっており、4 割近くが「肥満」の該当者となっている。年齢階層別にみると、「肥満」該当者の割合は、どの年齢階層においても 3～4 割を占め、特に 60 歳代が高い傾向にある。

被保険者・被扶養者別にみると(p.5)、「肥満」該当者の割合は、被保険者：40.7%、被扶養者：17.8%と、被保険者の割合が圧倒的に高く、どの年齢階層別においても概ね 4 割を占めている。一方、被扶養者は、年齢階層が上がるにつれて高くなる傾向が示されている。

図1 腹囲判定別該当者割合

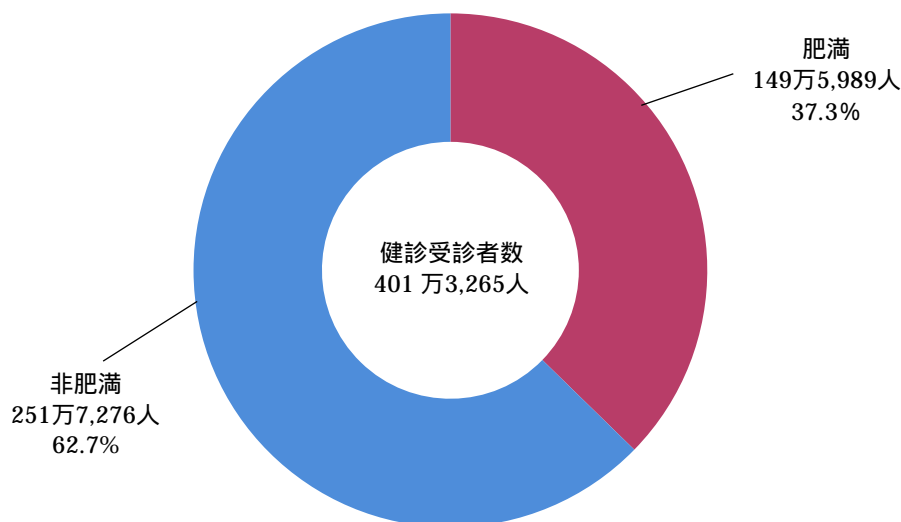


図2 年齢階層別 腹囲判定別該当者割合
健診受診者数：401万3,265人

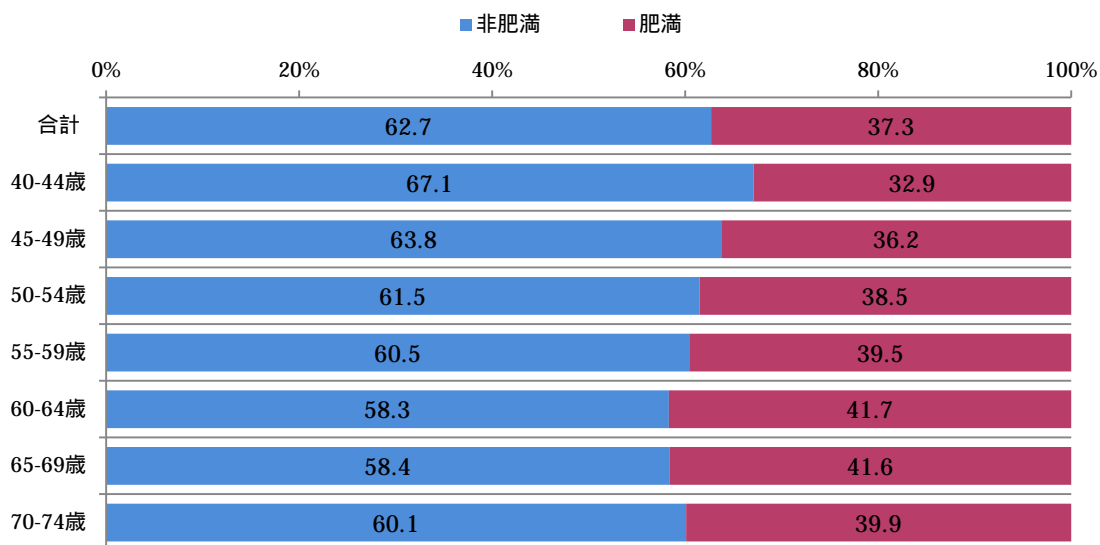


図3 年齢階層別 腹囲判定別該当者割合
【被保険者】

健診受診者数：341万2,641人

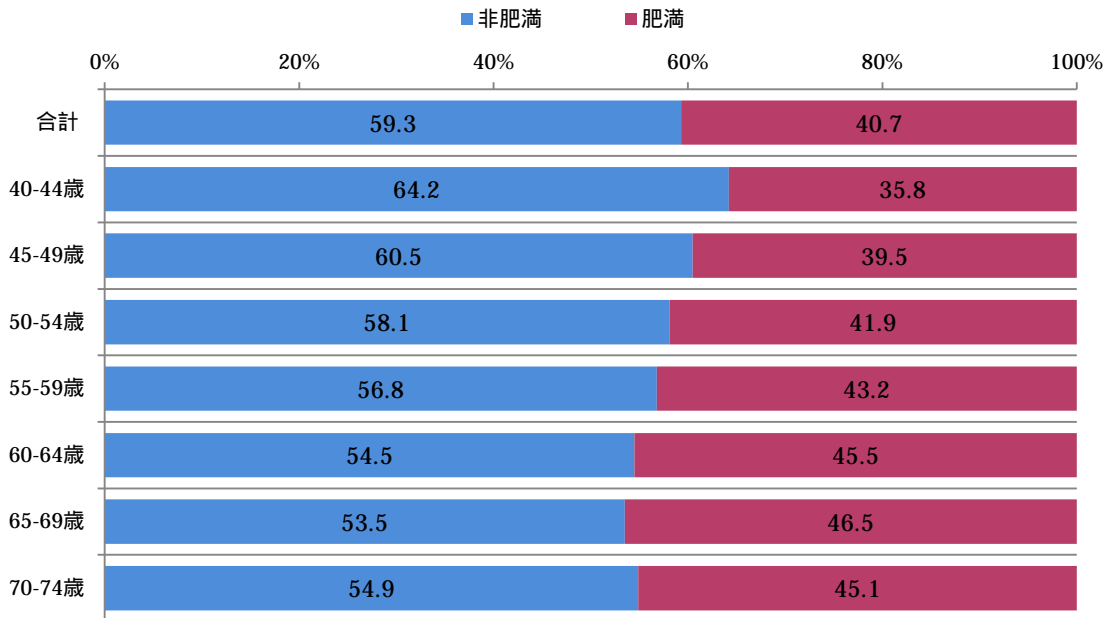
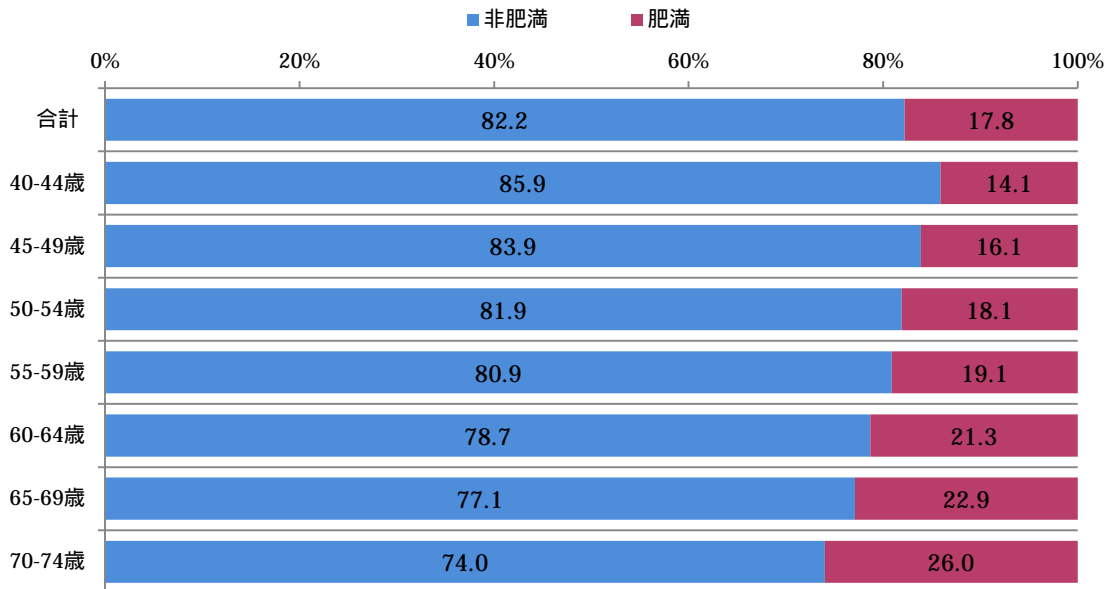


図4 年齢階層別 腹囲判定別該当者割合
【被扶養者】

健診受診者数：60万624人



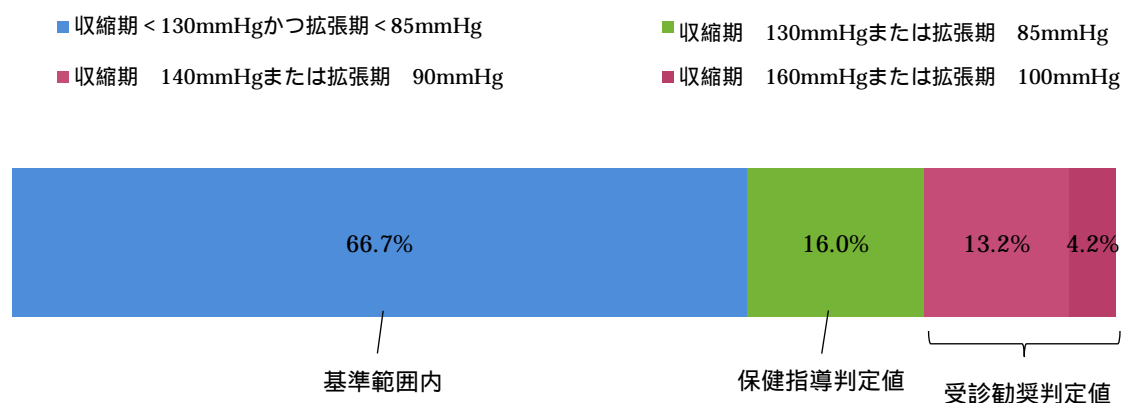
2. 健診検査項目別にみた判定値区分¹別該当者割合

(1) 血圧

「血圧」について健診判定値区分別に該当者²の割合をみると、「基準範囲内」:66.7%、「保健指導判定値」:16.0%、「受診勧奨判定値」:17.4%(13.2%+4.2%)となっており、33.4%が保健指導判定値以上の該当者となっている。

被保険者・被扶養者別にみると(p.7)、「基準範囲内」は被保険者が64.9%、被扶養者が76.5%となっており、被保険者のほうが「保健指導判定値」及び「受診勧奨判定値」の割合が高い。また、両者とも年齢階層が上がるにつれて「保健指導判定値」及び「受診勧奨判定値」の割合が高くなる傾向にある。

図5 「血圧」判定値区分別該当者割合
【合計】



	血圧	人数 / 割合
基準範囲内	収縮期 < 130mmHg かつ拡張期 < 85mmHg	2,675,408 人 66.7%
	収縮期 130 mmHg または拡張期 85mmHg	641,277 人 16.0%
受診勧奨判定値	収縮期 140 mmHg または拡張期 90mmHg	528,295 人 13.2%
	収縮期 160mmHg または拡張期 100mmHg	167,732 人 4.2%

¹ 健診判定値区分は、厚生労働省「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」第2編：健診 別添資料「健診結果とその他必要な情報の提供(フィードバック)文例集」に依拠。

(端数処理の関係上、割合の合計が必ずしも100%にならない場合がある。以下、同じ)。

² 該当者は、未測定者553人を除く計401万2,712人である。

図6 「血压」判定値区分別該当者割合
【被保険者】

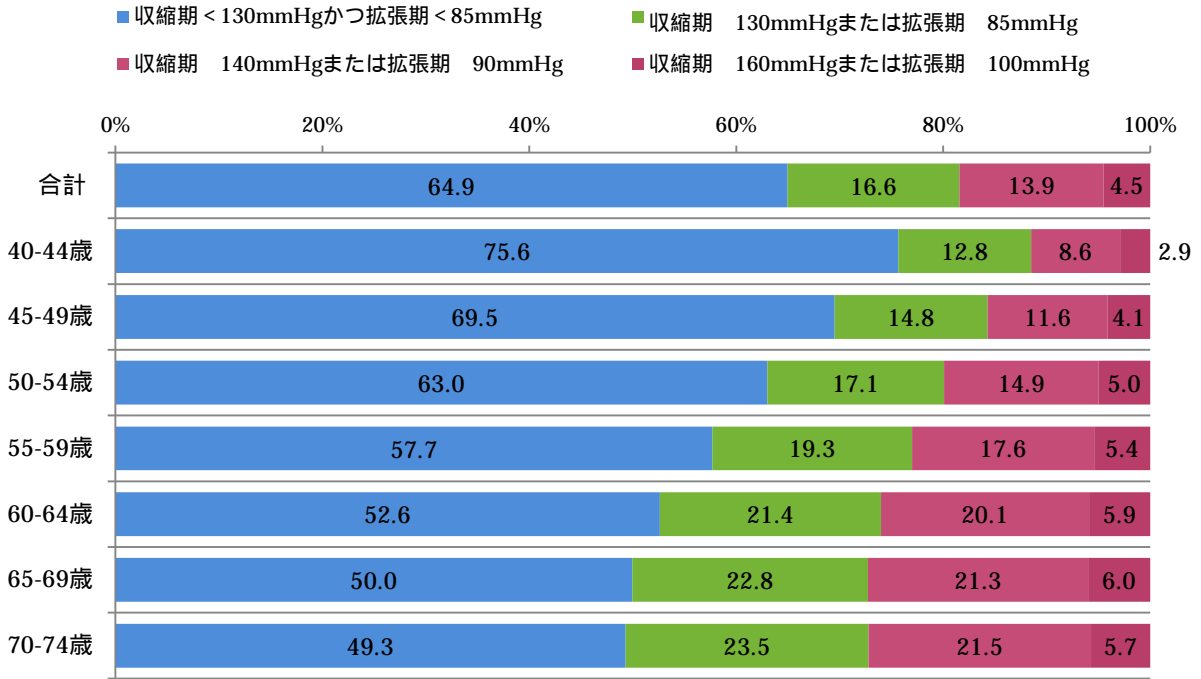
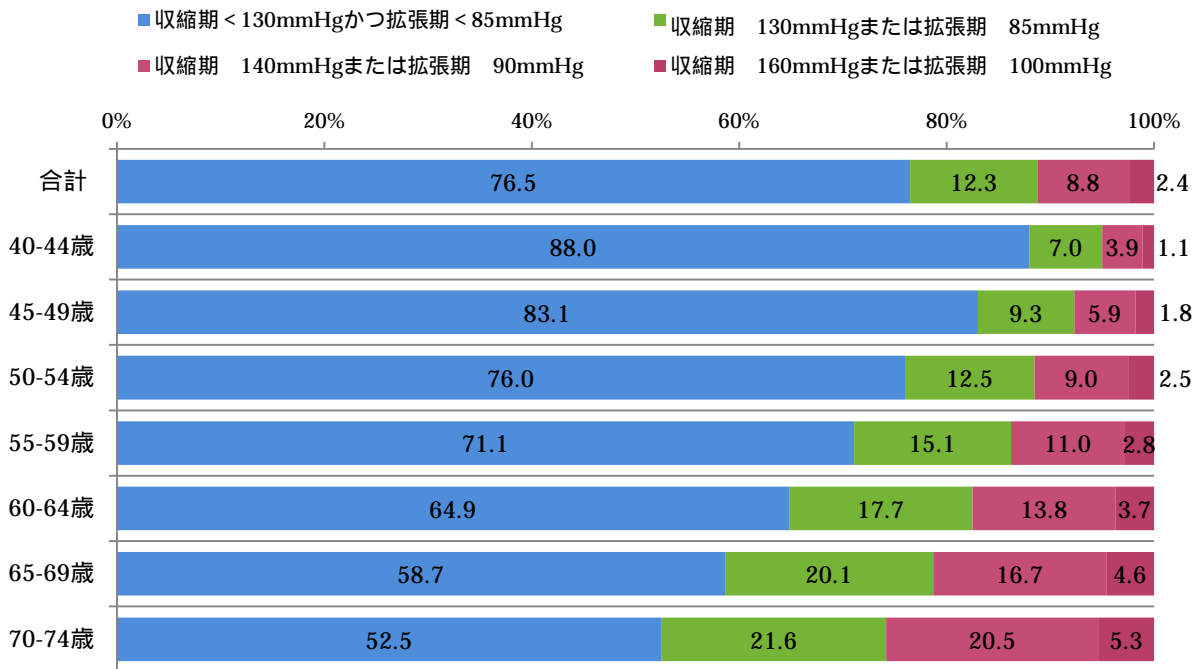


図7 「血压」判定値区分別該当者割合
【被扶養者】



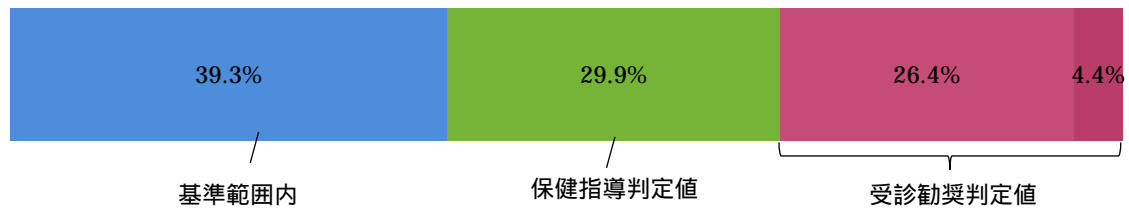
(2) 脂質

「脂質」について健診判定区分別に該当者³の割合をみると、「基準範囲内」:39.3%、「保健指導判定値」:29.9%、「受診勧奨判定値」:30.8%(26.4%+4.4%)となっており、60.7%が保健指導判定値以上の該当者となっている。

被保険者・被扶養者別にみると(p.9)、「基準範囲内」は被保険者が38.1%、被扶養者が45.8%となっており、被保険者のほうが「保健指導判定値」及び「受診勧奨判定値」の割合が高い。また、年齢階層別にみると、55歳以降では被扶養者のほうが「保健指導判定値」及び「受診勧奨判定値」の割合が高くなる傾向にある。

図8 「脂質」判定値区分別該当者割合
【合計】

- LDL < 120mg/dLかつHDL 40mg/dLかつ中性脂肪 < 150mg/dL
- LDL 120mg/dLまたはHDL < 40mg/dLまたは中性脂肪 150mg/dL
- LDL 140mg/dLまたは中性脂肪 300mg/dL
- LDL 180mg/dLまたは中性脂肪 1,000mg/dL



	脂質	人数 / 割合
基準範囲内	LDL < 120mg/dL かつ HDL 40mg/dL かつ中性脂肪 < 150mg/dL	1,576,052 人 39.3%
保健指導判定値	LDL 120mg/dL または HDL < 40mg/dL または中性脂肪 150mg/dL	1,199,814 人 29.9%
受診勧奨判定値	LDL 140mg/dL または中性脂肪 300mg/dL	1,060,425 人 26.4%
	LDL 180mg/dL または中性脂肪 1,000mg/dL	174,913 人 4.4%

³ 該当者は、未測定者 2,061 人を除く計 401 万 1,204 人である。

図9「脂質」判定値区別該当者割合
【被保険者】

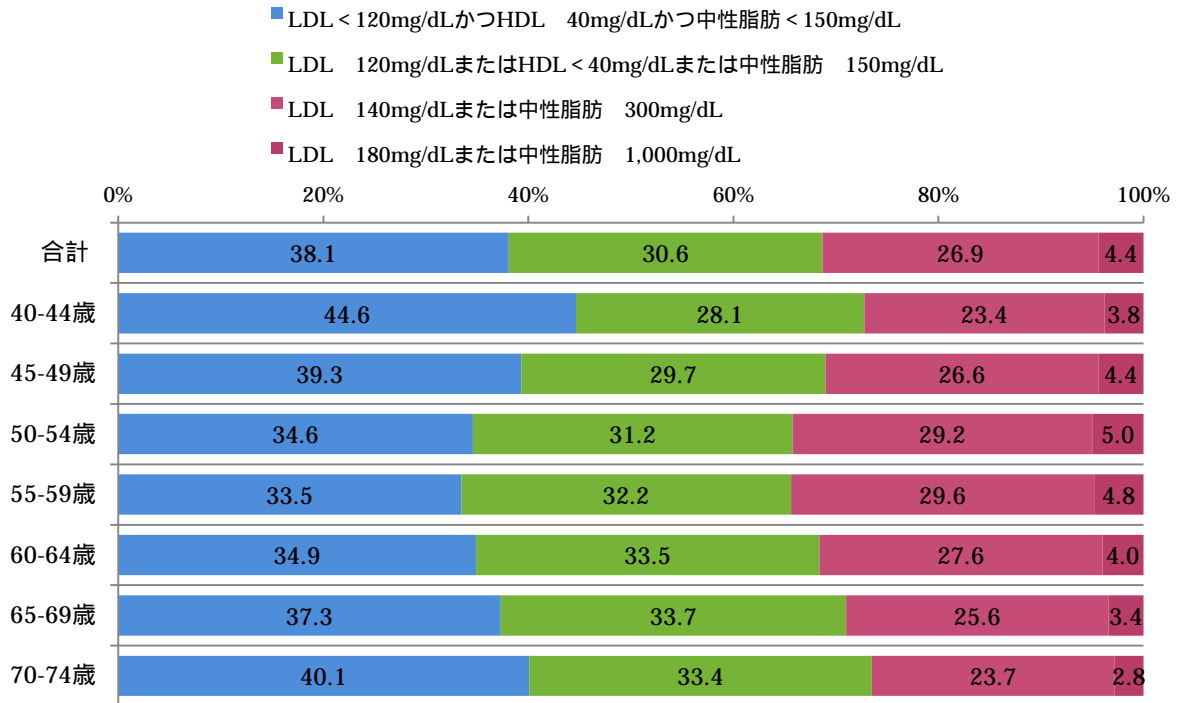
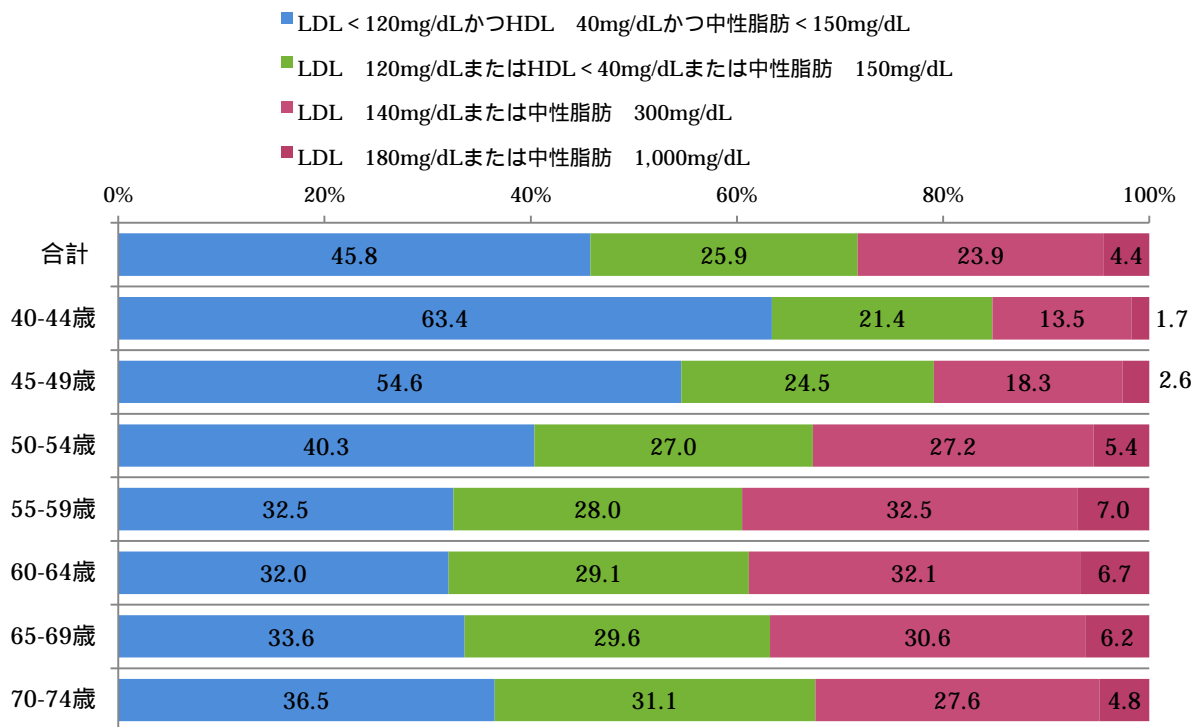


図10「脂質」判定値区別該当者割合
【被扶養者】

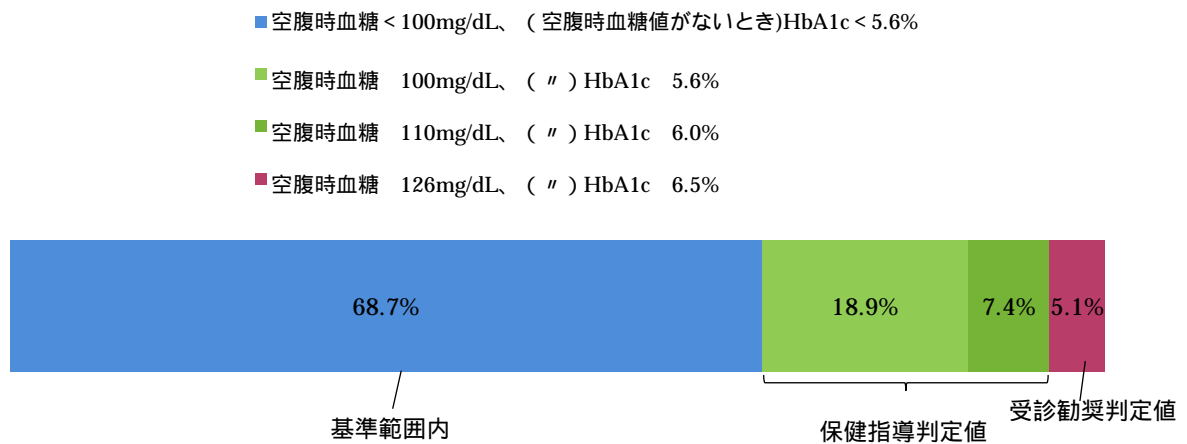


(3) 血糖

「血糖」について健診判定区別に該当者⁴の割合をみると、「基準範囲内」:68.7%、「保健指導判定値」:26.3%(18.9%+7.4%)、「受診勧奨判定値」:5.1%となっており、31.4%が保健指導判定値以上の該当者となっている。

被保険者・被扶養者別にみると(p.11)、「基準範囲内」は被保険者が66.6%、被扶養者が80.4%となっており、被保険者のほうが「保健指導判定値」及び「受診勧奨判定値」の割合が高い。また、両者とも年齢階層が上がるにつれて「保健指導判定値」及び「受診勧奨判定値」の割合が高くなる傾向にある。

図11 「血糖」判定値区別該当者割合
【合計】



	血糖	人数 / 割合
基準範囲内	空腹時血糖 < 100mg/dL (空腹時血糖がないとき)HbA1c < 5.6%	2,748,601 人 68.7%
	空腹時血糖 100mg/dL (空腹時血糖がないとき)HbA1c 5.6%	755,281 人 18.9%
保健指導判定値	空腹時血糖 110mg/dL (空腹時血糖がないとき)HbA1c 6.0%	294,718 人 7.4%
	空腹時血糖 126mg/dL (空腹時血糖がないとき)HbA1c 6.5%	203,047 人 5.1%

⁴ 該当者は、未測定者 1 万 1,618 人を除く計 400 万 1,647 人である。

図12 「血糖」判定値区別該当者割合
【被保険者】

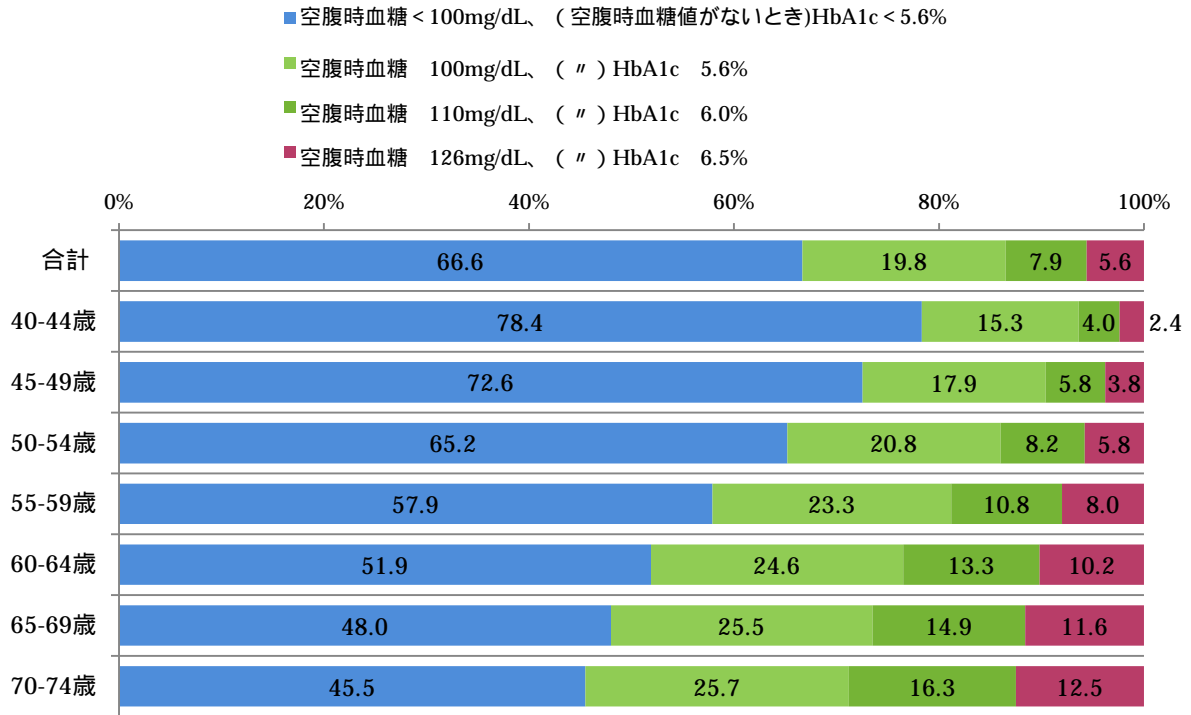
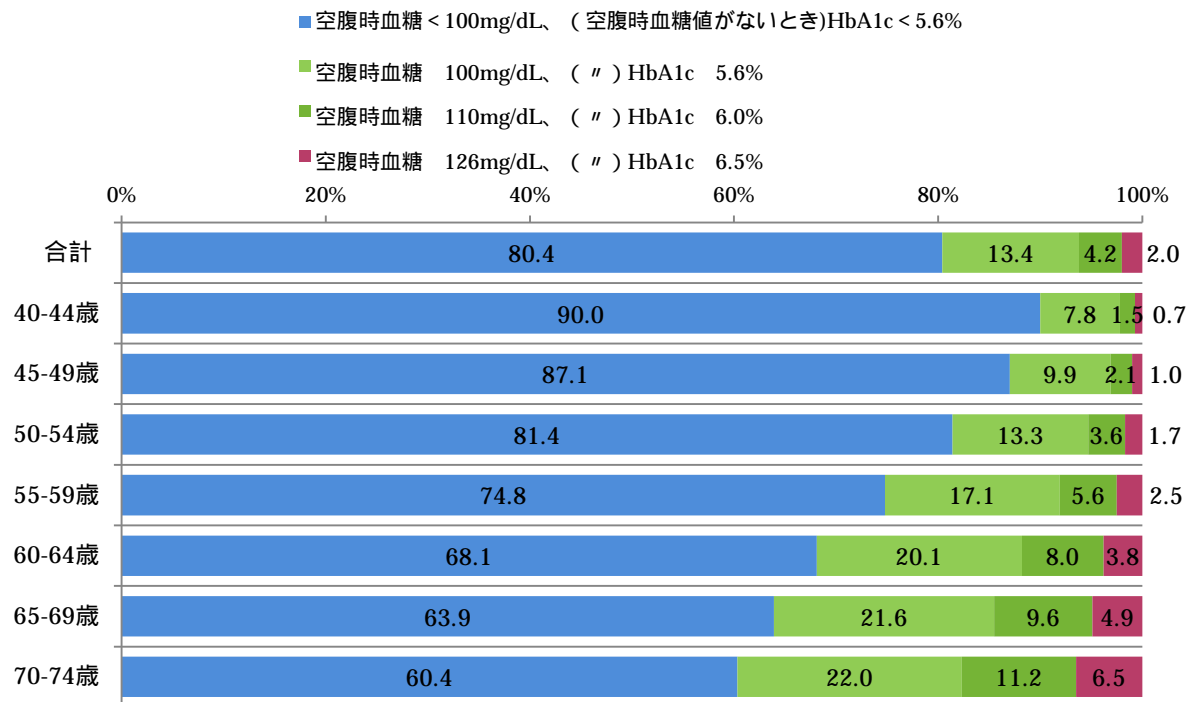


図13 「血糖」判定値区別該当者割合
【被扶養者】

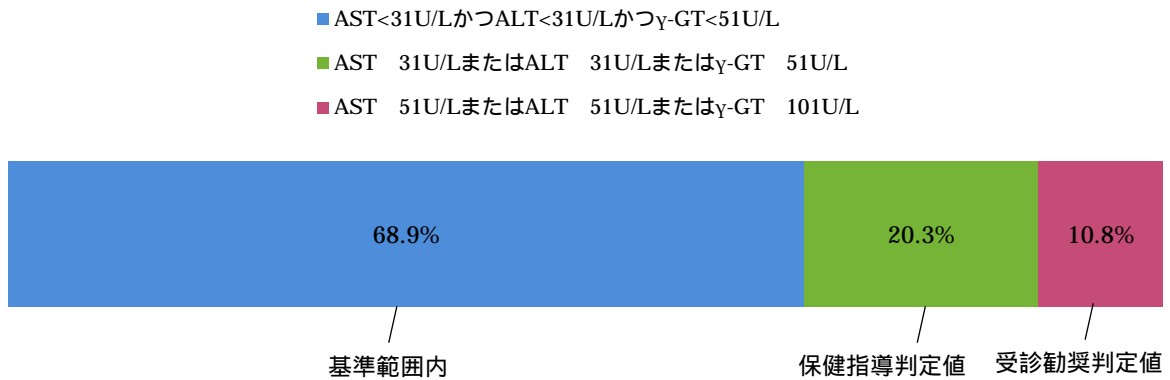


(4) 肝機能

「肝機能」について健診判定区分別に該当者⁵の割合をみると、「基準範囲内」:68.9%、「保健指導判定値」:20.3%、「受診勧奨判定値」:10.8%となっており、31.1%が保健指導判定値以上の該当者となっている。

被保険者・被扶養者別にみると(p.13)、「基準範囲内」は被保険者が 65.8%、被扶養者が 86.6%となっており、被保険者のほうが「保健指導判定値」及び「受診勧奨判定値」の割合が高く、どの年齢階層においても約 3~4 割が保健指導判定値以上となっている。

図14 「肝機能」判定値区分別該当者割合
【合計】



	肝機能	人数 / 割合
基準範囲内	AST < 31U/L かつ ALT < 31U/L かつ -GT < 51U/L	2,764,631 人
		68.9%
保健指導判定値	AST 31U/L または ALT 31U/L または -GT 51U/L	814,360 人
		20.3%
受診勧奨判定値	AST 51U/L または ALT 51U/L または -GT 101U/L	432,300 人
		10.8%

⁵ 該当者は、未測定者 1,974 人を除く計 401 万 1,291 人である。

図15 「肝機能」判定値区分別該当者割合
【被保険者】

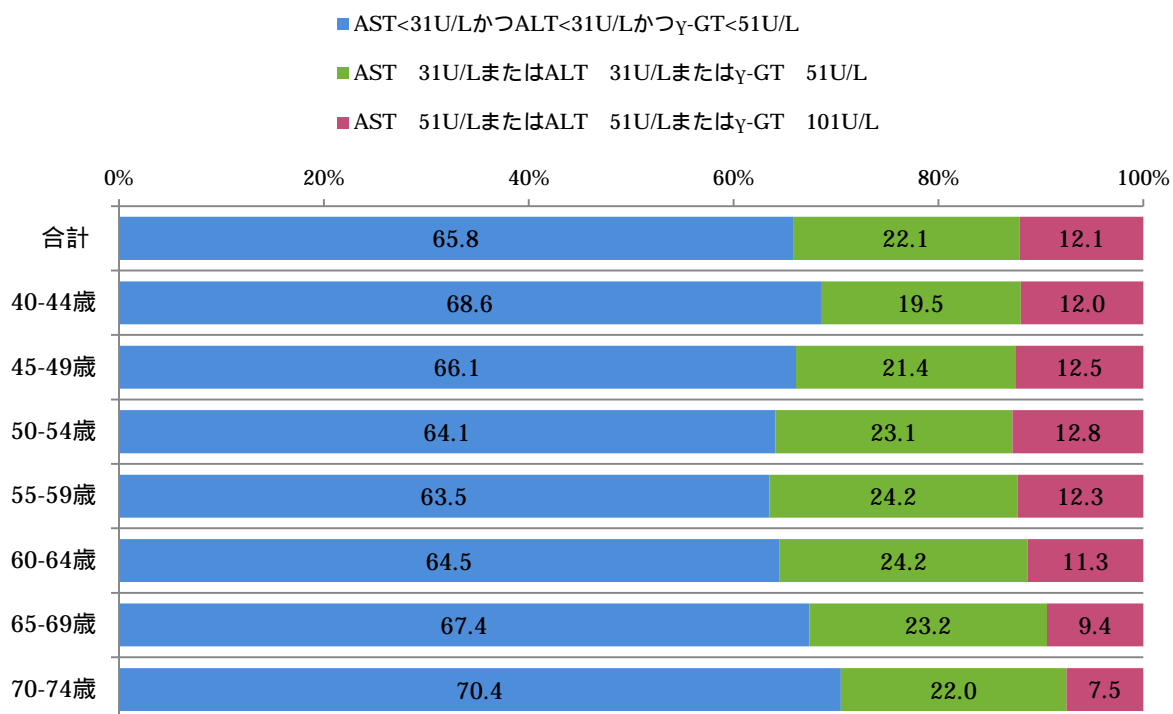
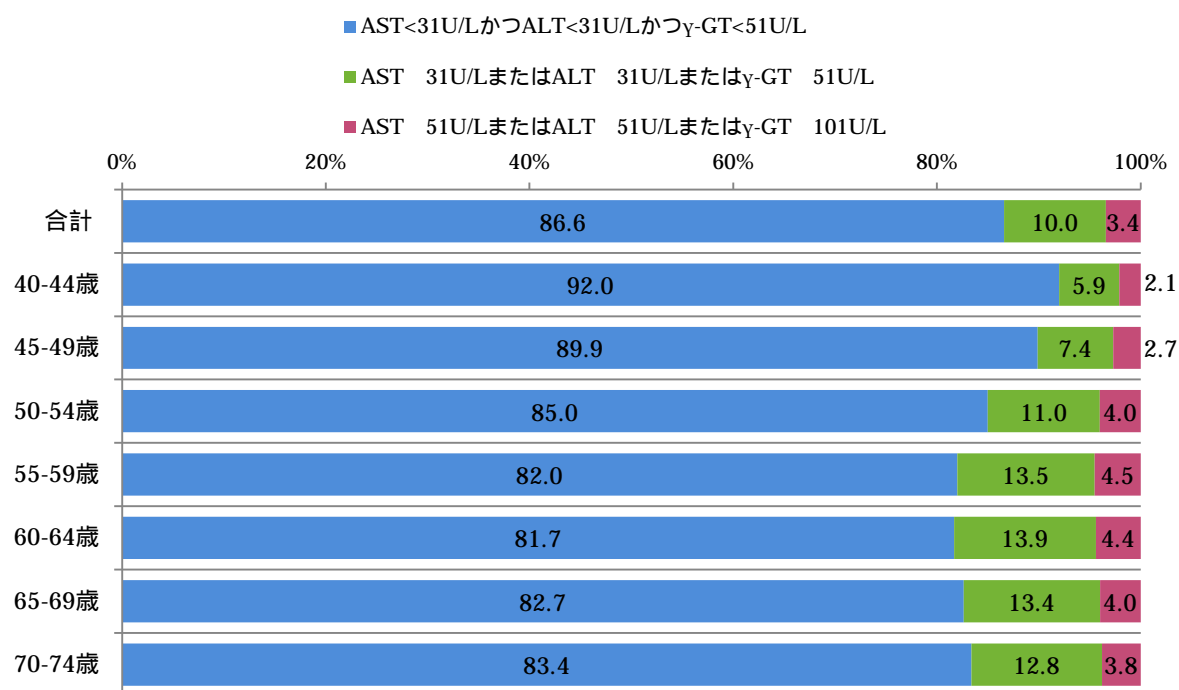


図16 「肝機能」判定値区分別該当者割合
【被扶養者】



3. 腹囲判定別にみた健診検査値リスク保有者⁶の構成割合⁷

腹囲判定別に、保健指導対象者の選定・階層化に必要な健診検査項目について、保健指導判定値以上のリスク保有者の割合をみると、「非肥満」では44.2%、「肥満」では77.9%となっており、「肥満」のほうがリスク保有者の割合が高くなっている。

図17 「非肥満」該当者のリスク保有者構成割合
【合計】

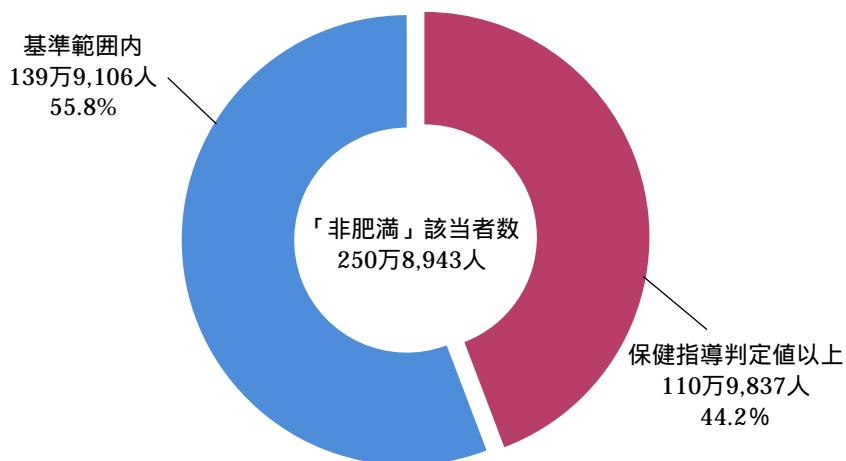
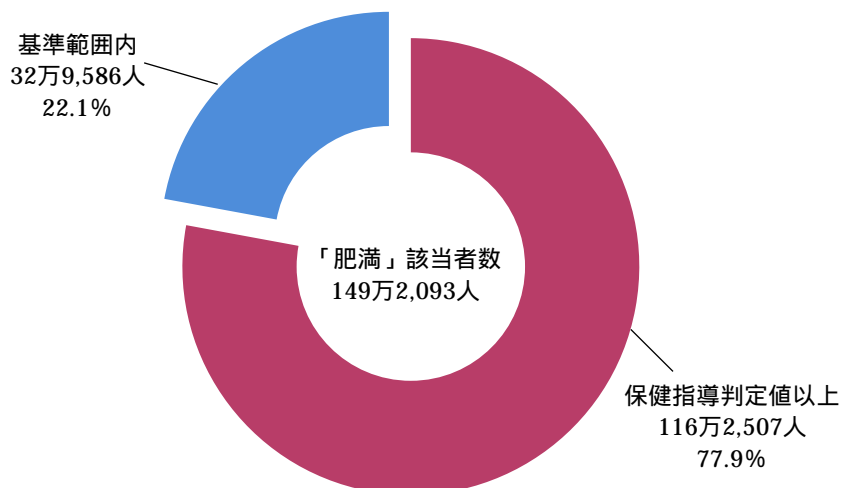


図18 「肥満」該当者のリスク保有者構成割合
【合計】



⁶ 本調査におけるリスク保有者とは、保健指導対象者の選定・階層化に必要な健診検査項目 血圧(収縮期・拡張期)、脂質(中性脂肪・HDL コレステロール)、血糖(空腹時血糖・HbA1c)のうち、いずれか1つ、あるいは複数の項目について、保健指導判定値以上(受診勧奨判定値以上を含む)に該当する者を指している(以下、同じ)。

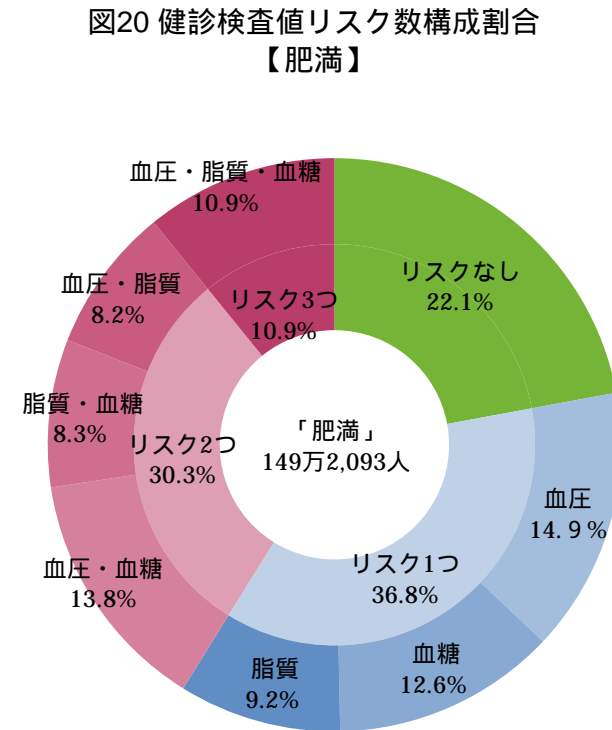
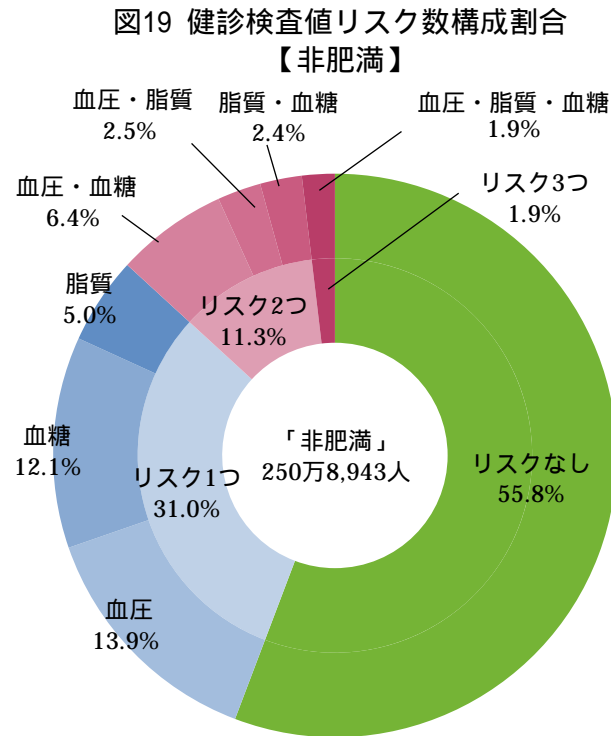
⁷ 健診検査項目判定不能の者(「非肥満」:8,333人、「肥満」:3,896人)を除いているため、p.4の値とは異なる。

4. 腹囲判定別にみた健診検査項目リスク数構成割合⁸

(1) 合計

腹囲判定別に、保健指導対象者の選定・階層化に必要な健診検査項目について、保健指導判定値以上のリスク保有者のリスク数の構成割合をみると、「非肥満」では、「リスクなし」:55.8%、「リスク1つ」:31.0%となっており、複数のリスク保有については、「リスク2つ」:11.3%、「リスク3つ」:1.9%となっている。

一方、「肥満」では、「リスクなし」が22.1%、「リスク1つ」が36.8%となっており、複数のリスク保有については、「リスク2つ」:30.3%、「リスク3つ」:10.9%となっている。



⁸ 健診検査項目判定不能の者(「非肥満」:8,333人、「肥満」:3,896人)を除いているため、p.4の値とは異なる。

(2) 被保険者

「非肥満」では、「リスクなし」:52.9%、「リスク1つ」が32.5%となっており、複数のリスク保有については、「リスク2つ」:12.4%、「リスク3つ」:2.1%となっている。

一方、「肥満」では、「リスクなし」が21.3%、「リスク1つ」が36.7%となっており、複数のリスク保有については、「リスク2つ」:30.8%、「リスク3つ」:11.2%となっている。

図21 健診検査値リスク数構成割合
【非肥満】

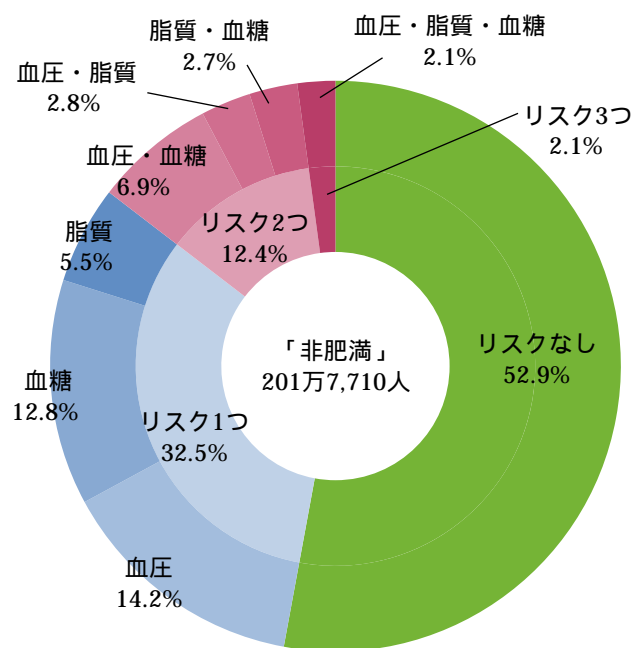
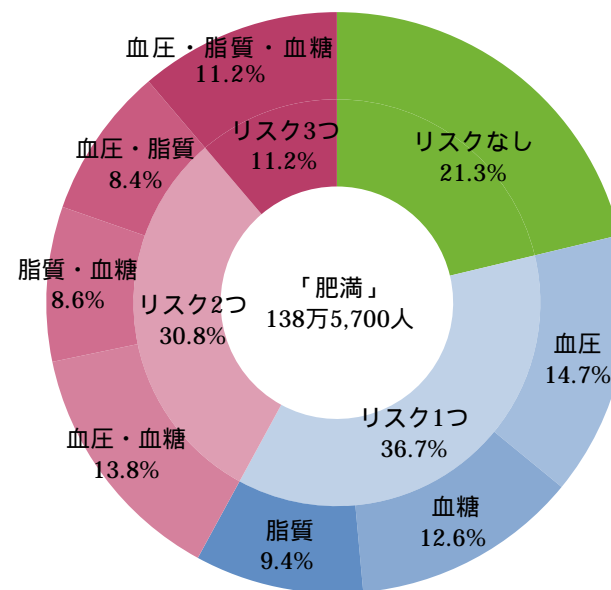


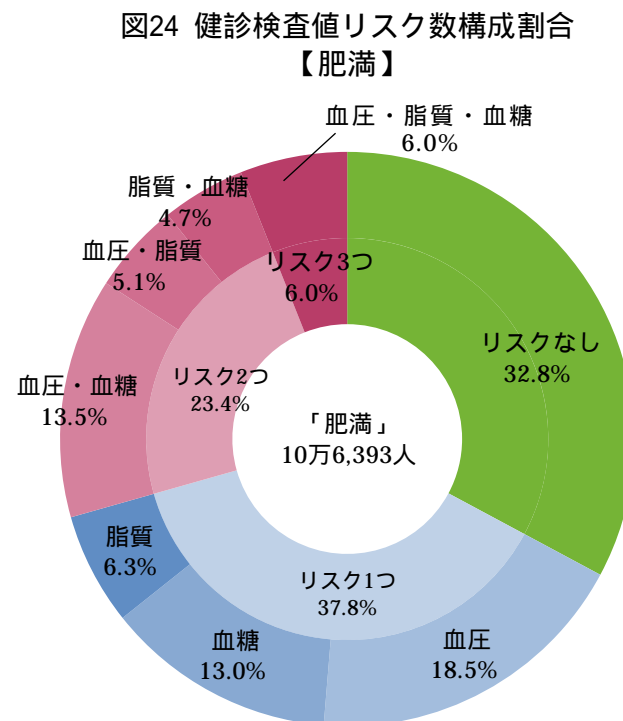
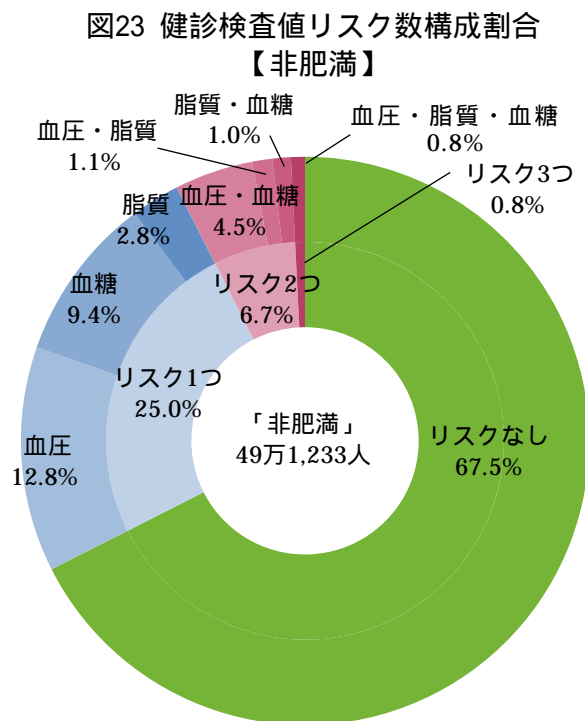
図22 健診検査値リスク数構成割合
【肥満】



(3) 被扶養者

「非肥満」では、「リスクなし」が67.5%、「リスク1つ」が25.0%となっており、複数のリスク保有については、「リスク2つ」:6.7%、「リスク3つ」:0.8%となっている。

一方、「肥満」では、「リスクなし」が32.8%、「リスク1つ」が37.8%となっており、複数のリスク保有については、「リスク2つ」:23.4%、「リスク3つ」:6.0%となっている。



5. 腹囲判定別にみた検査項目別「保健指導基準値以上」該当者のリスク保有構成割合
 (1) 血圧

「血圧」が保健指導判定値以上のリスク保有者 133 万 2,745 人について、腹囲判定別にリスク保有構成割合をみると、非肥満では「血圧のみ」が 56.3%で、「血圧のみ」以外のリスクでは、「血圧・血糖」: 25.9%が最も高く、次いで「血圧・脂質」: 10.1%、「血圧・脂質・血糖」: 7.6%となっている。

一方、肥満では、「血圧のみ」が 31.3%で、「血圧のみ」以外のリスクでは、「血圧・血糖」: 28.8%が最も高く、次いで「血圧・脂質・血糖」: 22.7%、「血圧・脂質」: 17.2%となっている。

図25 腹囲判定別「血圧」リスク該当者のリスク保有構成割合
 【合計】
 該当者数：133万2,745人

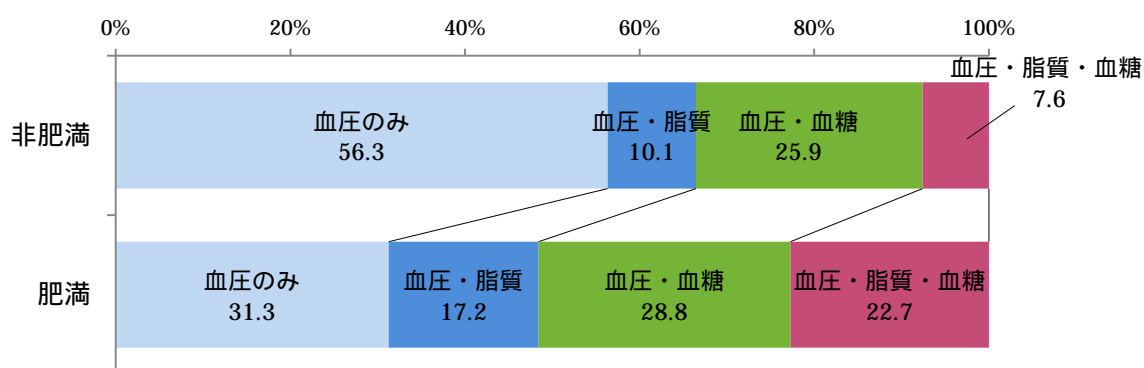


図26 腹囲判定別「血压」リスク該当者のリスク保有構成割合
 【被保険者】
 該当者数：119万2,402人

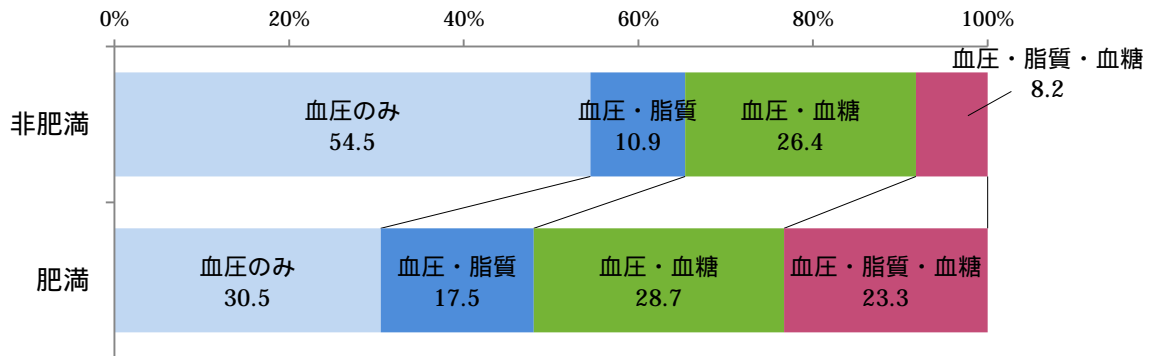
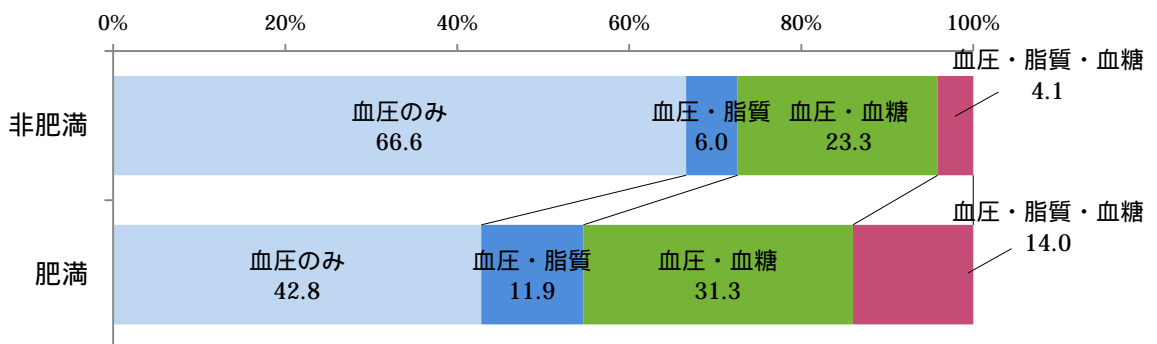


図27 腹囲判定別「血压」リスク該当者のリスク保有構成割合
 【被扶養者】
 該当者数：14万343人



(2) 脂質

「脂質」が保健指導判定値以上のリスク保有者 84 万 779 人について、腹囲判定別にリスク保有構成割合をみると、非肥満では「脂質のみ」が 42.4%で、「脂質のみ」以外のリスクでは、「脂質・血圧」: 21.3%が最も高く、次いで「脂質・血糖」: 20.3%、「脂質・血圧・血糖」: 16.0%となっている。

一方、肥満では、「脂質のみ」が 25.1%で、「脂質のみ」以外のリスクでは、「脂質・血圧・血糖」: 29.7%が最も高く、次いで「脂質・血糖」: 22.8%、「脂質・血圧」: 22.4%となっている。

図28 腹囲判定別「脂質」リスク該当者のリスク保有構成割合
【合計】
該当者数：84万779人

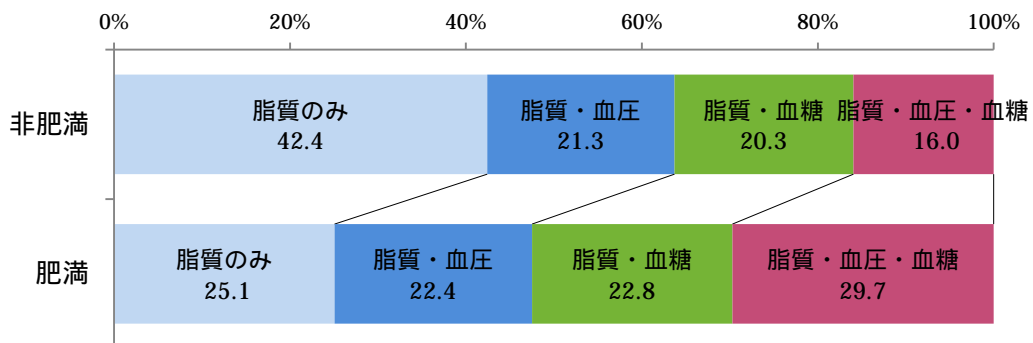


図29 腹囲判定別「脂質」リスク該当者のリスク保有構成割合
 【被保険者】
 該当者数：78万8,933人

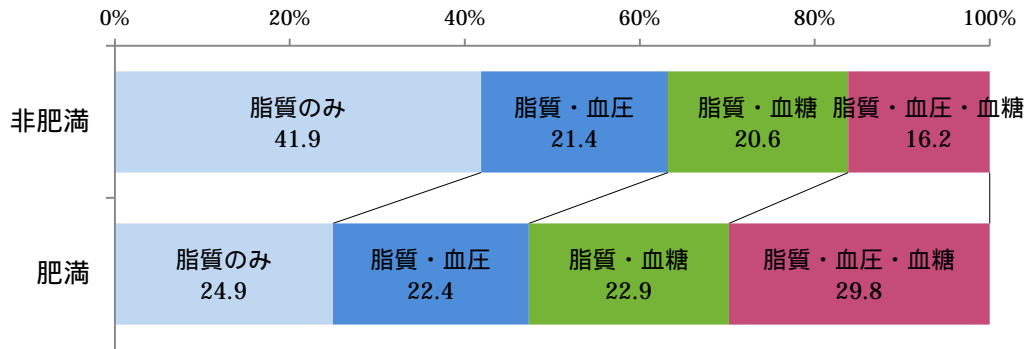
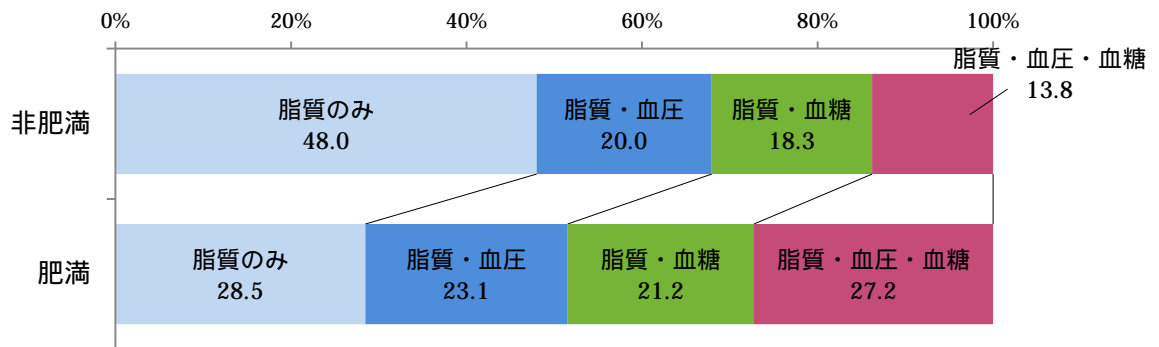


図30 腹囲判定別「脂質」リスク該当者のリスク保有構成割合
 【被扶養者】
 該当者数：5万1,846人



(3) 血糖

「血糖」が保健指導判定値以上のリスク保有者 125万2,779人について、腹囲判定別にリスク保有構成割合をみると、非肥満では「血糖のみ」が53.2%で、「血糖のみ」以外のリスクでは、「血糖・血圧」:28.1%が最も高く、次いで「血糖・脂質」:10.5%、「血糖・血圧・脂質」:8.2%となっている。

一方、肥満では、「血糖のみ」が27.7%で、「血糖のみ」以外のリスクでは、「血糖・血圧」:30.2%が最も高く、次いで「血糖・血圧・脂質」:23.8%、「血糖・脂質」:18.3%となっている。

図31 腹囲判定別「血糖」リスク該当者のリスク保有構成割合
【合計】
該当者数：125万2,779人

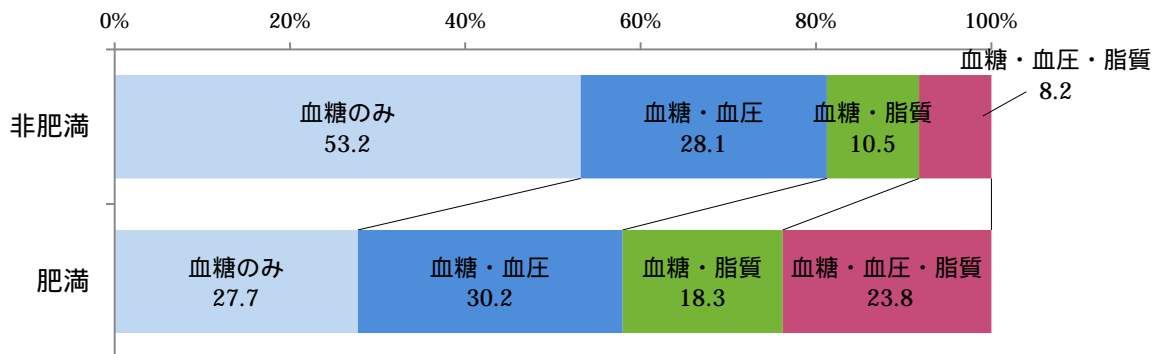


図32 腹囲判定別「血糖」リスク該当者のリスク保有構成割合
【被保険者】
該当者数：114万775人

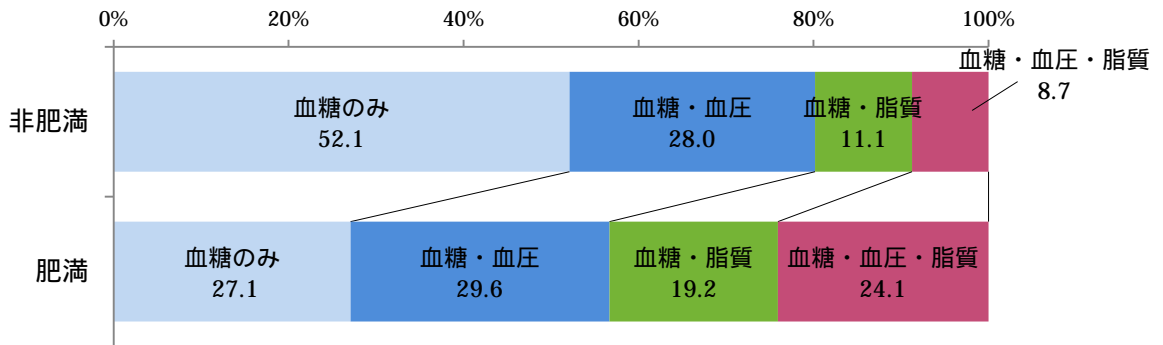
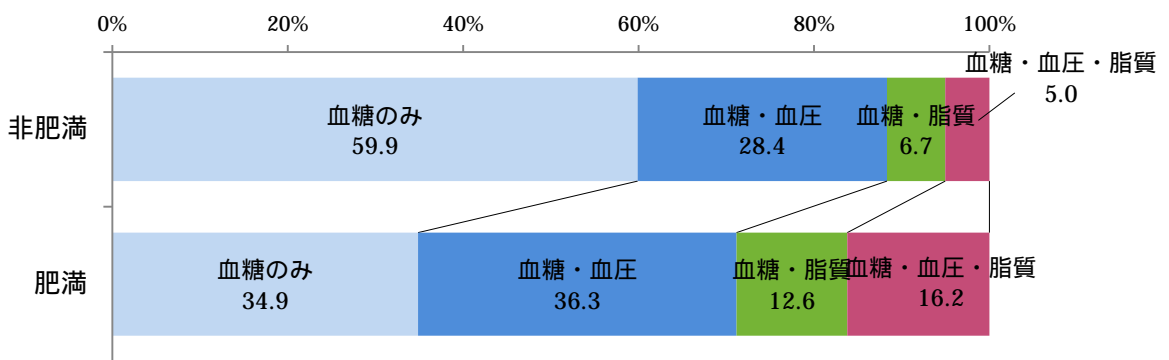


図33 腹囲判定別「血糖」リスク該当者のリスク保有構成割合
【被扶養者】
該当者数：11万7,015人



6. 保健指導対象者の選定・階層化に基づく健診レベル判定分布⁹

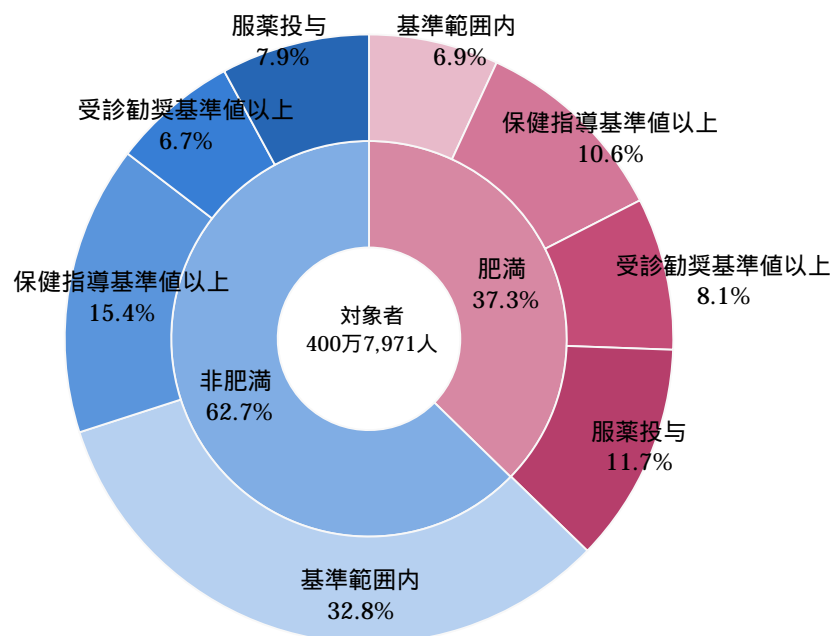
特定健診受診者について、保健指導対象者の選定・階層化に基づく「健診レベル判定分布状況」をみると、「非肥満」該当者では、「基準範囲内」:32.8%、「保健指導基準値上」:15.4%、「受診勧奨基準値以上」:6.7%となっている。

一方、「肥満」該当者では、「基準範囲内」:6.9%、「保健指導判定値以上」:10.6%、「受診勧奨判定値以上」:8.1%、「服薬投与」:11.7%となっている。

また、特定健診受診者のうち、医療機関への受診勧奨が必要な「受診勧奨判定値以上」の者は、非肥満・肥満該当者を合わせ、全体の14.8%となっている。

図 34 健診レベル判定分布状況

【合計】



⁹ 健診レベル判定分布は、保健指導対象者の選定に必要となる健診検査項目(「腹囲」・「血圧」・「脂質」・「血糖」)の判定基準に基づいて保健指導対象者を階層化し、各該当者の割合を示したものである。なお対象者は「血圧」・「脂質」・「血糖」の未測定者 5,388 人を除く 400 万 7,971 人である。

図 35 健診レベル判定分布状況

【被保険者】

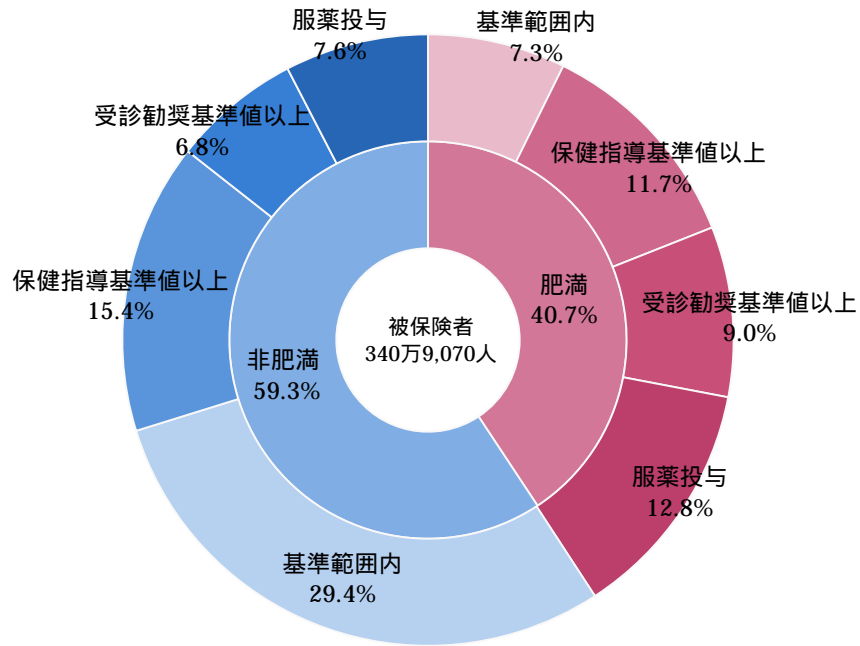
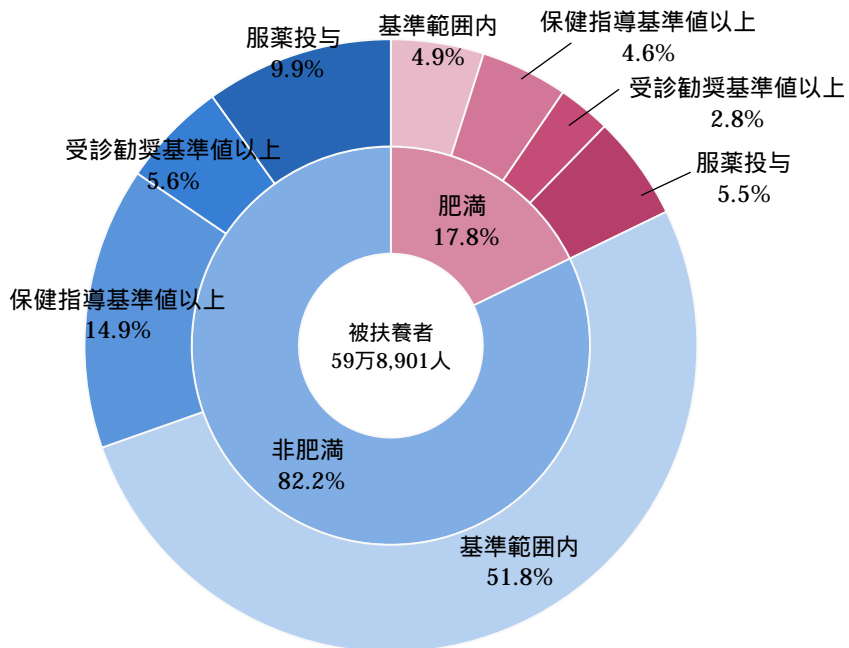


図 36 健診レベル判定分布状況

【被扶養者】

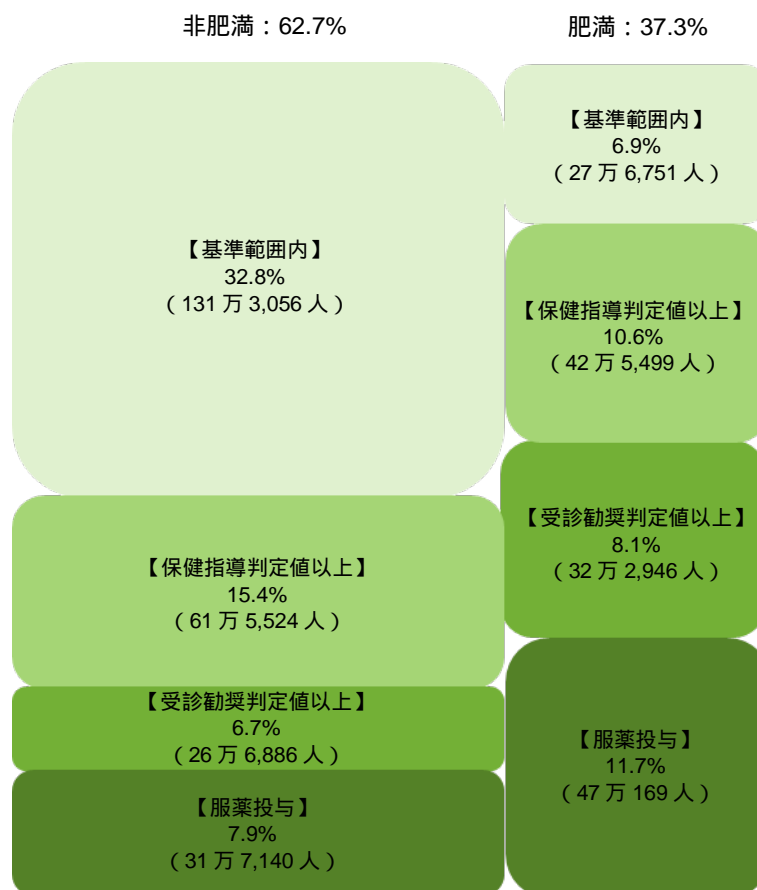


【参考資料】

健康分布図¹⁰からみた加入者の健康状態

【合計】

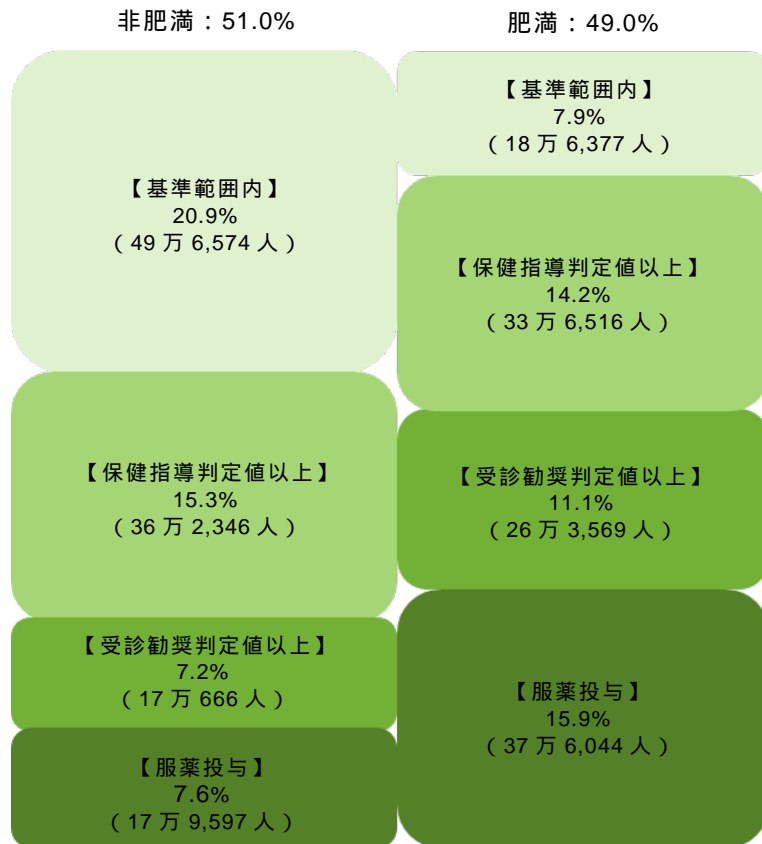
対象者：400万7,971人



¹⁰「健康分布図」は、保健指導対象者の選定に必要な健診検査項目（「腹囲」・「血压」・「脂質」・「血糖」）の判定基準に基づいて保健指導対象を対象化し、該当者の割合を面積で示したものである。

【男性】

対象者：237万 1,689人



【女性】

対象者：163万 6,282人

